

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	低炭素社会国際研究ネットワーク事業	担当部局庁	地球環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度・平成25年度	担当課室	総務課研究調査室	室長 辻原 浩			
会計区分	一般会計	施策名	1-1 地球温暖化対策の計画的な推進による低炭素社会づくり				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	京都議定書目標達成計画				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量を半減するというG8で合意された長期目標達成を究極目的とし、主要先進国・アジアにおける科学コミュニティで低炭素社会への道筋を共有し、知的成果の気候変動枠組条約など国際政策プロセスへの発信、IPCC第5次評価報告書への貢献を目指す。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	本事業では、低炭素社会国際研究ネットワーク(以下LCS-RNet)の事務局の運営を行い、関係国の参加研究機関が参加する年次研究者会合の開催や、研究交流の促進支援、研究成果の取りまとめや発信、アウトリーチを行う。また、LCS-RNetに開発途上国を取り込んだ地域内研究協力の促進を行うため、アジア低炭素研究ネットワーク(LoCARNet)を立ち上げ、アジアにおける低炭素社会研究基盤の構築に貢献する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	118	118	93	89	87
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	118	118	93	89	87
執行額	118	120	76	-	-		
執行率(%)	100%	102%	82%	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度~)
	定量的アウトカム指標はないが、国際政策プロセスでの認知、IPCCへの貢献、アジアのネットワーク立ち上げなどがアウトカム。	成果実績	-	-	各国における低炭素成長戦略の策定(カンクン合意)	-	・アジア低炭素研究ネットワーク(LoCARNet)の立ち上げ ・IPCC第5次評価報告書に貢献
		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	年次会合における統合レポート作成及びアジア等の地域間会合の開催状況	活動実績(当初見込み)	-	トリエステ(年次会合)統合レポート	ベルリン(年次会合)統合レポート バンコク(WS) カンボジア(WS)	パリ(年次会合)統合レポート マレーシア(WS、2回) タイ(WS)	イギリス(年次会合)統合レポート タイ(WS) カンボジア(WS) ベトナム(WS) ハノイ(WS)
				(-)	(-)		
単位当たりコスト	- (円/ -)		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査等委託費	89	87	人件費等にかかる経費の効率化による減			
	計	89	87				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	LCS-RNetは各国低炭素政策に直接関与している各国の主導的な研究者・研究機関により構成されるネットワークであり、国の関与は必須である。また、本ネットワークは、G8環境大臣会合によりその設立が合意され、成果を同会合へ報告するもの。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	基本的には、先進国の旅費は自身で負担しており、年次会合開催においては参加国で持ち回りで開催しており、開催費用はホスト国が負担することとしているなど、合理的な支出となっている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	毎年、着実に年次会合を開催できており、また、アジアでのWS開催も増加している。さらに、H24年4月には、「東アジア低炭素成長パートナーシップ対話」が開催され、「東アジア低炭素成長ナレッジ・プラットフォーム」の構築に向け、協働していくことが合意された。LoCARNetは、このプラットフォームの一端を担うものである。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	世界全体で低炭素社会を実現するため、研究交流の促進支援や、成果の適切な発信、開発途上国を取り込んだ研究協力・キャパシティビルディングを推進した。LCS-RNet、LoCARNetによるネットワーク活動は、国際的な低炭素シナリオ研究の推進に、先進国、途上国の両面で有効である。本活動の成果はUNFCCC交渉やG8環境大臣会合に科学的貢献を行うほか、IPCC第5次評価報告書への貢献も期待されている。平成23年度はダーバンでのCOP17においてサイドイベントを開催し、各国の低炭素社会研究・政策の取組を発信したほか、ホームページ等を活用し効率的な情報発信を行った。さらに、ASEAN+3環境大臣会合において、アジアにおける低炭素社会研究基盤の構築のために、各国を代表する低炭素社会に関する研究者により構成される研究ネットワークの有用性を提案した。今後もネットワーク活動の全体計画の進捗状況を常時フォローアップし、必要に応じ修正を行う等活動の効率化を図りつつ実施していく。
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		計画策定について、過去の実績等を踏まえ予算額を節減すべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減		既存の知見等を活かし、人件費等を見直し、必要最低限の予算となるよう、概算要求額を縮減。	
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	012	平成23年行政事業レビュー	009

※平成23年度実績を記入

環境省
76百万円

平成23年度低炭素社会国際研究ネットワーク運営実施事業

【内容】

LCS-Rnet参加国による研究交流の促進支援、研究成果の取りまとめと発信、アウトリーチ国におけるキャパシティビルディング、アジアにおける低炭素社会研究基盤の構築。



【企画競争/委託】

A.(財)地球環境戦略研究機関
76百万円

【業務内容】

LCS-Rnet事務局の運営

ネットワーク参加機関間による研究協力促進のための活動

アジアにおける低炭素社会研究基盤の構築

低炭素社会研究動向、主要な成果及び発展の方向性の分析

LCS-Rnet活動とその成果発信



【随契/外注】

B. ISKANDAR REGIONAL
DEVELOPMENT AUTHORITY
1百万円

【業務内容】

マレーシアにおけるシンポジウム開催に伴う現地での会場運営等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかにつ
いて補足する)(単
位:百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごと に最大の金額が支出され ている者について記載す る。費目と使途の双方で 実情が分かるように記載）	A.(財)地球環境戦略研究機関					
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	14名	29			
	旅費	国内旅費、外国旅費	21			
	印刷製本費	報告書	4			
	通信運搬費	送料等	1			
	賃金	研究補助・事務補助	2			
	雑役務費	編集費用、資料整理補助業務	6			
	外注費	会議運営業務	1			
	その他	諸謝金、消耗品費、借料及び損料、 会議費、一般管理費、消費税	13			
計	※端数処理を行っている関係で、各 費目の合計と総合計が一致しない。	76	計		0	
B.ISKANDAR REGIONAL DEVELOPMENT AUTHORITY						
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
雑役務費	マレーシアにおけるシンポジウム開催 に伴う現地での会場運営等	1				
計		1	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地球環境戦略研究機関	LCS-Rnet事務局の運営 ネットワーク参加機関による研究協力促進のための活動 アジアにおける低炭素社会研究基盤の構築 低炭素社会研究動向、主要な成果及び発展の方向性の分析 LCS-Rnet活動とその成果発信	76	企画競争の 複数年目	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ISKANDAR REGIONAL DEVELOPMENT AUTHORITY	マレーシアにおけるシンポジウム開催に伴う現地での会場運営等	1	随意契約	-